平成23年第3回大仙市議会定例会会議録第4号

平成23年9月15日（木曜日）

議事日程第4号

平成23年9月15日（木曜日）午前10時00分開議

- 日程第 1 議案第162号 大仙市税条例等の一部を改正する条例の制定について
(総務民生委員長報告・質疑・討論・表決)
- 日程第 2 議案第163号 大仙市肉用牛特別導入事業基金条例の一部を改正する条例の制定について
(企画産業委員長報告・質疑・討論・表決)
- 日程第 3 議案第165号 大仙市公設小売市場の設置及び管理等に関する条例を廃止する条例の制定について
(企画産業委員長報告・質疑・討論・表決)
- 日程第 4 議案第164号 大仙市世代交流福祉施設条例の一部を改正する条例の制定について (教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 日程第 5 議案第166号 大曲ファミリースキー場の指定管理者の指定について
(教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 日程第 6 議案第170号 平成23年度大仙市スキー場事業特別会計への繰入額の変更について
(教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決)
- 日程第 7 議案第167号 市道中仙4号線館ノ内北川橋橋梁上部工事請負契約の変更について (建設水道委員長報告・質疑・討論・表決)
- 日程第 8 議案第168号 市道の路線の認定及び廃止について
(建設水道委員長報告・質疑・討論・表決)
- 日程第 9 議案第169号 平成22年度大仙市上水道事業剰余金の処分について
(建設水道委員長報告・質疑・討論・表決)
- 日程第10 議案第171号 平成23年度大仙市一般会計補正予算(第7号)
(各常任委員長報告・質疑・討論・表決)

日程第 1 1	議案第 2 0 2 号	平成 2 3 年度大仙市一般会計補正予算（第 8 号） （各常任委員長報告・質疑・討論・表決）
日程第 1 2	議案第 1 7 2 号	平成 2 3 年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算 （第 2 号）（総務民生委員長報告・質疑・討論・表決）
日程第 1 3	議案第 1 7 5 号	平成 2 3 年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算（第 3 号）（教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決）
日程第 1 4	議案第 1 7 3 号	平成 2 3 年度大仙市土地区画整理事業特別会計補正予算 （第 1 号）（建設水道委員長報告・質疑・討論・表決）
日程第 1 5	議案第 1 7 4 号	平成 2 3 年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算 （第 1 号）（建設水道委員長報告・質疑・討論・表決）
日程第 1 6	議案第 2 0 0 号	平成 2 2 年度市立大曲病院事業会計決算の認定について （教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決）
日程第 1 7	議案第 2 0 1 号	平成 2 2 年度大仙市上水道事業会計決算の認定について （建設水道委員長報告・質疑・討論・表決）
日程第 1 8	陳情第 2 9 号	後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書の採択を求め ることについて （総務民生委員長報告・質疑・討論・表決）
日程第 1 9	陳情第 3 3 号	地方消費者行政充実のための国による支援に関する意見 書の採択等を求めることについて （総務民生委員長報告・質疑・討論・表決）
日程第 2 0	請願第 1 2 号	米の先物取引試験上場の中止を求めることについて （企画産業委員長報告・質疑・討論・表決）
日程第 2 1	請願第 1 0 号	3 0 人以下学級実現を求める意見書採択について （教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決）
日程第 2 2	請願第 1 1 号	義務教育費国庫負担堅持及び国庫負担 2 分の 1 復元を求 める意見書採択について （教育福祉委員長報告・質疑・討論・表決）
日程第 2 3	請願第 1 3 号	小平、岩瀬、湯野沢地域の早期堤防構築に関すること について（建設水道委員長報告・質疑・討論・表決）

- 日程第 2 4 議案第 2 0 3 号 大仙市議会基本条例の制定について
(議会基本条例特別委員長説明・質疑・討論・表決)
- 日程第 2 5 意見書案第 1 9 号 後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書
(質疑・討論・表決)
- 日程第 2 6 意見書案第 2 0 号 地方消費者行政充実のための国による支援に関する意見書
(質疑・討論・表決)
- 日程第 2 7 意見書案第 2 1 号 米の先物取引試験上場の中止を求める意見書
(質疑・討論・表決)
- 日程第 2 8 意見書案第 2 2 号 3 0 人以下学級実現を求める意見書
(質疑・討論・表決)
- 日程第 2 9 意見書案第 2 3 号 義務教育費国庫負担堅持及び国庫負担 2 分の 1 復元を求める意見書
(質疑・討論・表決)
- 日程第 3 0 各委員会からの閉会中の継続審査及び所管事務調査の申し出について
(委員長報告・質疑・討論・表決)
- 日程第 3 1 議員の派遣について
- 日程第 3 2 議案第 1 7 6 号 平成 2 2 年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定について
(決算特別委員長報告)
- 日程第 3 3 議案第 1 7 7 号 平成 2 2 年度大仙市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
(決算特別委員長報告)
- 日程第 3 4 議案第 1 7 8 号 平成 2 2 年度大仙市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
(決算特別委員長報告)
- 日程第 3 5 議案第 1 7 9 号 平成 2 2 年度大仙市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
(決算特別委員長報告)
- 日程第 3 6 議案第 1 8 0 号 平成 2 2 年度大仙市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について
(決算特別委員長報告)
- 日程第 3 7 議案第 1 8 1 号 平成 2 2 年度大仙市土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について
(決算特別委員長報告)
- 日程第 3 8 議案第 1 8 2 号 平成 2 2 年度大仙市学校給食事業特別会計歳入歳出決算の認定について
(決算特別委員長報告)

日程第 3 9	議案第 1 8 3 号	平成 2 2 年度大仙市奨学資金特別会計歳入歳出決算の認定について (決算特別委員長報告)
日程第 4 0	議案第 1 8 4 号	平成 2 2 年度大仙市宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について (決算特別委員長報告)
日程第 4 1	議案第 1 8 5 号	平成 2 2 年度大仙市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について (決算特別委員長報告)
日程第 4 2	議案第 1 8 6 号	平成 2 2 年度大仙市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について (決算特別委員長報告)
日程第 4 3	議案第 1 8 7 号	平成 2 2 年度大仙市特定環境保全公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について (決算特別委員長報告)
日程第 4 4	議案第 1 8 8 号	平成 2 2 年度大仙市特定地域生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について (決算特別委員長報告)
日程第 4 5	議案第 1 8 9 号	平成 2 2 年度大仙市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について (決算特別委員長報告)
日程第 4 6	議案第 1 9 0 号	平成 2 2 年度大仙市介護老人福祉施設介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について (決算特別委員長報告)
日程第 4 7	議案第 1 9 1 号	平成 2 2 年度大仙市介護老人保健施設介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について (決算特別委員長報告)
日程第 4 8	議案第 1 9 2 号	平成 2 2 年度大仙市老人デイサービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について (決算特別委員長報告)
日程第 4 9	議案第 1 9 3 号	平成 2 2 年度大仙市スキー場事業特別会計歳入歳出決算の認定について (決算特別委員長報告)
日程第 5 0	議案第 1 9 4 号	平成 2 2 年度大仙市内小友財産区特別会計歳入歳出決算の認定について (決算特別委員長報告)
日程第 5 1	議案第 1 9 5 号	平成 2 2 年度大仙市大川西根財産区特別会計歳入歳出決算の認定について (決算特別委員長報告)
日程第 5 2	議案第 1 9 6 号	平成 2 2 年度大仙市荒川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について (決算特別委員長報告)

- 日程第53 議案第197号 平成22年度大仙市峰吉川財産区特別会計歳入歳出決算
の認定について (決算特別委員長報告)
- 日程第54 議案第198号 平成22年度大仙市船岡財産区特別会計歳入歳出決算の
認定について (決算特別委員長報告)
- 日程第55 議案第199号 平成22年度大仙市淀川財産区特別会計歳入歳出決算の
認定について (決算特別委員長報告)
- 日程第56 決算特別委員会からの閉会中の継続審査の申し出について

出席議員 (28人)

1番 大野忠夫	2番 佐藤文子	3番 後藤健
4番 佐藤隆盛	5番 藤井春雄	6番 杉沢千恵子
7番 茂木隆	8番 小山緑郎	9番 小松栄治
10番 富岡喜芳	11番 佐藤清吉	12番 石塚柏
13番 金谷道男	14番 武田隆	15番 渡邊秀俊
16番 高橋敏英	17番	18番 佐藤芳雄
19番 大山利吉	21番 高橋幸晴	22番 本間輝男
23番 橋本五郎	24番 藤田君雄	25番 橋村誠
26番 佐藤孝次	27番 千葉健	28番 鎌田正
29番 竹原弘治	30番 児玉裕一	

欠席議員 (1人)

20番 北村稔

説明のため出席した者

市長 栗林次美	副市長 久米正雄
副市長 山王丸愛子	教育長 三浦憲一
代表監査委員 福原堅悦	総務部長 老松博行
企画部長 小松辰巳	市民部長 元吉峯夫
健康福祉部長 佐々木昭	農林商工部長 高橋豊幸
建設部長 田口隆志	上下水道部長 高野永夫

病院事務長 伊藤 和 保 教育指導部長 青 谷 晃 吉
生涯学習部長 武 田 茂 総務部次長 進 藤 雅 彦

議会事務局職員出席者

局 長 佐々木 誠 治 参 事 竹 内 徳 幸
主 幹 伊 藤 雅 裕 主 査 佐 藤 和 人
主 任 中 川 智 晴

午前10時00分 開 議

○議長（児玉裕一君） おはようございます。

これより本日の会議を行います。

欠席の届出は20番北村稔君、遅刻の連絡があったのは1番大野忠夫君であります。

議事に先立ち、市長より発言の申し出がありますので、これを許します。栗林市長。

○市長（栗林次美君）【登壇】 おはようございます。

発言の訂正をお願いいたします。中通線新設工事につきまして、道路擁壁部の地盤改良に伴い、過去に集落のごみ捨て場などであった土地に埋設されていた廃棄物を産業廃棄物として処分する必要があることから、その経費を増額するため、契約の変更にかかわる単行案を今次定例会に追加提案させていただき、去る9月7日の本会議において申し上げたところであります。

しかしながら、その後の建設水道常任委員会協議会と議会運営委員会において、当局の説明に不整合があったほか、廃棄物がなお埋設されている可能性などについてご指摘を受け、慎重に事を進めるようご指導をいただいております。

このようなことから、今少し時間をかけて処分すべき廃棄物の数量を慎重に確定したいと存じますので、この度の提案は見送らせていただくことといたしました。

説明や段取りに不手際がありましたことにつきまして、深くお詫びを申し上げます。

なお、本件は来る10月5日に予定されている臨時会に改めて提案させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

○議長（児玉裕一君） 本日の議事は、議事日程第4号をもって進めます。

○議長（児玉裕一君） 日程第1、議案第162号を議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。総務民生常任委員長14番武田隆君。はい、14番。

○総務民生常任委員長（武田 隆君）【登壇】 おはようございます。

本会議第3日、当委員会に審査付託となりました事件につきまして、去る9月9日、委員会を開催し、所管関係部長等の出席を求め、慎重審査いたしましたので、その経過及び結果について順次ご報告いたします。

議案第162号「大仙市税条例等の一部を改正する条例の制定について」であります。が、当局の説明に対し、質疑において「不申告にかかわる過料の引き上げについて、不申告が故意であるかないとにかかわらず罰則は適用されるのか。」との質問があり、当局からは「税の公平という観点から、故意でない場合は特別事情ということで、その分の税については更正させていただいている。」との答弁がありました。

また、「上場株式配当所得に対する軽減税率の延長について、これに該当する課税対象者は、どのような所得層と考えているのか。」との質問があり、「必ずしも資金の余裕のある方だけが株式を運用しているものではないと認識している。」との答弁がありました。

討論において、NPO法人への寄附金控除の対象拡大と高齢者向け有料賃貸住宅への固定資産税の軽減など、評価できるものもあるが、上場株式等の配当所得、譲渡所得への軽減税率2年延長は、担税力のある一部の資産家を優遇するものであるということ、また、罰則の見直しは納税者への罰則強化につながり、人権無視の税務調査や差し押さえなどが広がる恐れがあることから、本案に反対するものであるとの反対討論がありました。

採決の結果、出席委員の多数をもって、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（児玉裕一君） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありますので発言を許します。2番佐藤文子

君。はい、2番。

○2番（佐藤文子君）【登壇】 おはようございます。

私は、議案第162号、大仙市税条例等の一部改正案に反対をいたします。

本改正案は、6月22日国会で成立いたしました現下の厳しい経済状況及び雇用情勢に対応して税制の整備を図るための地方税法等の一部を改正する法律に基づいて改正しようとするものであります。

国会での地方税法改定にあたりましては、我が党は国際戦略特区に対する固定資産税の軽減措置は、大企業、財界の要望する国際競争力強化や規制緩和を推進するものであること、また、証券優遇税制の2年延長や納税者に対する刑事罰の強化などの問題点を指摘し、反対いたしました。

市の条例改正案におきましては、NPO法人への寄附金控除の対象拡大や高齢者向け有料賃貸住宅への固定資産税の軽減などは評価できるものの、上場株式等の配当所得、譲渡所得への軽減税率2年延長は、担税力のある一部の資産家を優遇するもので認められません。

また、申告漏れ等への罰則強化は、人権無視の税務調査や差し押さえなどがこれから広がる恐れがあり、問題だと感じます。

以上の点を指摘し、本案に反対するものです。

終わります。

○議長（児玉裕一君） ほかに討論の通告がありませんので、これにて討論を終結いたします。

これより議案第162号を採決いたします。この採決は起立によって行います。本件に対する委員長報告は原案可決であります。本件は委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（児玉裕一君） 起立多数であります。よって本件は、原案のとおり可決されました。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第2、議案第163号及び日程第3、議案第165号の2件を一括して議題といたします。

本2件に関し、委員長の報告を求めます。企画産業常任委員長25番橋村誠君。はい、

25番。

○企画産業常任委員長（橋村 誠君）【登壇】 今期定例会、本会議第3日に当常任委員会に審査付託となりました事件につきまして、去る9月9日に委員会を開催し、所管関係部長等の出席を求めて慎重審査いたしましたので、その経過及び結果についてご報告いたします。

議案第163号「大仙市肉用牛特別導入事業基金条例の一部を改正する条例の制定について」及び議案第165号「大仙市公設小売市場の設置及び管理等に関する条例を廃止する条例の制定について」の2件につきましては、当局からの内容説明に対し、格別なる質疑・討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本2件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上、報告を終わります。

○議長（児玉裕一君） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより議案第163号及び議案第165号の2件を一括して採決いたします。本2件に対する委員長報告は原案可決であります。本2件は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本2件は、原案のとおり可決されました。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第4、議案第164号から日程第6、議案第170号までの3件を一括して議題といたします。

本3件に関し、委員長の報告を求めます。教育福祉常任委員長13番金谷道男君。はい、13番。

○教育福祉常任委員長（金谷道男君）【登壇】 本会議第3日に当常任委員会に審査付託となりました事件につき、去る9月9日・12日に委員会を開催し、慎重審査いたしましたので、その経過及び結果についてご報告いたします。

議案第164号「大仙市世代交流福祉施設条例の一部を改正する条例の制定について」につきましては、当局からの内容説明に対し、質疑において「今までの利用者の状況はどのようになっているのか。また、施設を廃止して代替施設の利便性は大丈夫か。」との質問がありましたが、当局から「昨年度の年間利用者は421名で一日平均に換算すると約1人強となっている。過去3カ年を見ると年々利用者は減少傾向にある。また、代替施設については、現在の福祉館と道路を挟んで位置しており、利便性はある。」との答弁がありました。

当局の内容説明を了とし、採決の結果、出席委員の一致をもって、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第166号「大曲ファミリースキー場の指定管理者の指定について」につきましては、当局からの内容説明に対し、質疑において「なぜ前の指定管理者は継続しなかったのか。」との質問に対し、当局からは「今年の3月までは市開発公社が指定管理者になっていたが、市開発公社が解散したため、今回新たに株式会社大曲スポーツセンターを指定管理者とするものである。」との答弁がありました。

当局の内容説明を了とし、採決の結果、出席委員の一致をもって、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第170号「平成23年度大仙市スキー場事業特別会計への繰入額の変更について」につきましては、当局からの内容説明を了とし、採決の結果、出席委員の一致をもって、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で報告を終わります。

○議長（児玉裕一君） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありますので発言を許します。2番佐藤文子君。

○2番（佐藤文子君）【登壇】 私は、議案第164号、大仙市世代交流福祉施設条例の一部改正案に反対討論を行います。

本案は、大沢郷の老人憩の家、名称改め世代交流福祉館を廃止する条例案であります。老人憩の家は、老朽化と近隣公共施設利用が可能という理由から、半ばなし崩し的に

廃止が進められてきたように思います。日課のない自由な空間で寄り合い、語らい、趣味に興じて一日を過ごすことは、お年寄りの楽しみ、喜びであり、孤独感からの解放と心身の健康のための大切な時間であります。こうした役割を果たしてきたのが老人憩の家であり、身近なところにあって、原則無料で利用できるということが定着して利用されてきたところであります。

老人の孤独死が社会問題になる中、老人の憩の家が果たしている役割は重要であります。老人憩の場、語らいの場を通じて高齢者の心身の健康を守る保障を、高齢者福祉行政の責任で充実すべきであり、有効活用されるようにすることこそ望むものであります。

以上を述べて反対討論といたします。

終わります。

○議長（児玉裕一君） ほかに討論の通告がありませんので、これにて討論を終結いたします。

これより、ただいま議題となっております案件中、議案第164号を採決いたします。この採決は起立によって行います。本件に対する委員長報告は原案可決であります。本件は委員長報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

（賛成者起立）

○議長（児玉裕一君） 起立多数であります。よって本件は、原案のとおり可決されました。

次に、ただいま議題となっております案件中、議案第166号及び議案第170号の2件を一括して採決いたします。本2件に対する委員長報告は原案可決であります。本2件は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本2件は、原案のとおり可決されました。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第7、議案第167号から日程第9、議案第169号までの3件を一括して議題といたします。

本3件に関し、委員長の報告を求めます。建設水道常任委員長18番佐藤芳雄君。はい、18番。

○建設水道常任委員長（佐藤芳雄君） 【登壇】 ご報告いたします。

今定例会本会議第3日に当委員会に審査付託となりました事件につき、去る9月9日に委員会を開催し、所管関係部長等の出席を求めて慎重審査いたしましたので、その経過及び結果についてご報告いたします。

まず、委員会審査の前に、建設部長から謝罪の発言がありました。その内容は、本会議2日目の開会前に市長の開催依頼に基づき開会された建設水道常任委員会協議会の協議案件「中通線新設工事請負契約の変更について」の工事現場から大量のごみが出てきたとの説明を受け、委員からは「ごみが出てきた場所ではボーリングを調査しなかったのか。」との質問に「ごみが出てきた場所の調査は実施していない。」との回答をし、本会議終了後に開催された議会運営委員会での説明では、ボーリング調査を実施したが、ごみが混在した様子はなかったと相反する報告をし、その後において建設水道常任委員会に連絡をせず、その旨をお詫びしたいということでありました。このことについて委員からは「詫びれば済むような問題ではない。本会議開会前に招集された委員会協議会では、ボーリング調査書類の準備もなく、調査時点には建物があつたからごみの出てきた場所の調査は実施していないと説明を受け、同日の議運では、書類が見つかったからボーリング調査を実施していたと相反した説明を聞き、少なくとも書類が見つかった時点で委員長に報告すべきではないか、我々にも説明する時間があつたはず。議会軽視、委員会軽視も甚だしい。」との意見が出されました。

また、別の委員からは「事務引き継ぎの内容が不足をしているのではないか。ごみが出てくるのは、わかっていなかったのか。細かなことでも正確に事務引き継ぎがされていれば、ごみが出てきたのはわかっていたのではないか。」との意見もありました。

さらに別の委員からは「今回の件で委員会の審査をやめようとも思った。ごみが出てきた場所は、以前は材木屋でもあり、ごみとか木挽きをまいているのが普通だし、近隣の土地権利者はみなわかっていたはず。地権者に情報をもらっていたら十分にわかっていただけないか。ビジネスマナーといえる「ハウレンソウ」、いわゆる報告・連絡・相談を徹底していれば問題にならなかったのではないか。」との意見が出されましたので、この際に報告させていただきます。

それでは、審査の経過及び結果について報告いたします。

はじめに、議案第167号「市道中仙4号線館ノ内北川橋橋梁上部工事請負契約の変更について」、議案第168号「市道の路線の認定及び廃止について」及び議案第169号「平成22年度大仙市上水道事業剰余金の処分について」の3件については、

当局からの内容説明に対し、格別なる質疑・討論もなく、採決の結果、出席委員の一致をもって、議案第167号及び議案第168号の2件は同意すべきものと、また、議案第169号は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

報告を終わります。

○議長（児玉裕一君） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより、ただいま議題となっております案件中、議案第167号及び議案第168号の2件を一括して採決いたします。本2件に対する委員長報告は同意であります。本2件は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本2件は、同意することに決しました。

次に、ただいま議題となっております案件中、議案第169号を採決いたします。本件に対する委員長報告は原案可決であります。本件は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決されました。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第10、議案第171号を議題といたします。

本件に関し、各委員長の報告を求めます。はじめに、総務民生常任委員長14番武田隆君。はい、14番。

○総務民生常任委員長（武田 隆君） 【登壇】 ご報告いたします。

議案第171号「平成23年度大仙市一般会計補正予算（第7号）」のうち、当委員会に付託となりました所管する予算につきましては、当局からの補正内容の説明に対し、質疑において「家庭用LED照明購入補助について、申し込みが多く、家電店への入荷が遅れているようだが、次年度においてもこの事業を継続する考えはあるのか。」との

質問があり、当局からは「この補助金は原則当該年度のものであり、次年度については現段階では言及できない。」との答弁がありました。

その後、委員から「この事業は来年度も是非継続されるように要求する。」との発言がありました。

討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（児玉裕一君） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

次に、企画産業常任委員長 25 番橋村誠君。はい、25 番。

○企画産業常任委員長（橋村 誠君）【登壇】 ご報告いたします。

同じく議案第 171 号のうち、当委員会に審査付託となりました所管する予算につきましては、当局からの内容説明に対し、質疑において委員から「太田地区ふれあいの里管理費では、太田ふれあいの里内にあるテニスコートを改修し、犬を解放し自由に遊ばせる「ドッグラン施設」にするとしている。この施設は行政が作るべきものであるか疑問であり、その点についてどのような考え方をしているのか。」との質疑があり、それに対して当局からは「奥羽山荘を中心としたふれあいの里・農村体験の里等の周辺施設一帯において、他の観光施設にはない魅力を持った施設の整備やイベントにより集客を行いたい。また、大仙市観光振興計画の基本的スタンスである、自然環境を活かした誘客に結びつけたいとの観点からお願いするものである。」との答弁がありました。

その他、2、3の質疑がありましたが、討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上、報告を終わります。

○議長（児玉裕一君） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

次に、教育福祉常任委員長 13 番金谷道男君。はい、13 番。

○教育福祉常任委員長（金谷道男君）【登壇】 ご報告いたします。

議案第171号のうち、当委員会に審査付託となりました所管する予算につきましては、当局からの補正内容の説明に対し、質疑において「高齢者等除雪サービス事業において利用申請を行うのは個人か民生委員なのか。」との質問があり、当局からは「毎年10月の広報紙で周知し、利用者から申請書を提出していただいている。申請書にはサービス利用の妥当性を判断してもらうため、民生委員からの記載欄を設けている。」との答弁がありました。

委員から「この事業は有効な事業であり、今後ますますニーズが多くなると思われる。今後、事業量が多くなれば委託先の建設業協会の負担も大きくなるので、雇用創出の観点からも、求職者や農業者などを委託先に雇用してもらえよう働きかけてはどうか。」との提案がありました。

また、西仙北地域スクールバス運行業務委託料の債務負担行為補正についても委員から安全性の徹底についての要望がありました。

採決の結果、出席委員の一致をもって、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で報告を終わります。

○議長（児玉裕一君） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

次に、建設水道常任委員長18番佐藤芳雄君。はい、18番。

○建設水道常任委員長（佐藤芳雄君）【登壇】 ご報告いたします。

同じく議案第171号のうち、当委員会に審査付託となりました所管する予算につきましては、当局からの補正予算の内容説明に対し、質疑において「除雪作業を委託する民間業者は、本庁と支所のどちらで委託発注をするのか。」との質問には、「除雪作業の業務委託は昨年度と変更点はなく、これまでの経過を考慮して各支所ごとの業務委託契約になる。」との答弁でした。

さらに委員からは「その民間業者が倒産や税金の滞納があった場合などの対処方法はどうか。」との質問には「昨年依頼した業者が倒産したということであれば委託することができないので、ほかの地域で既に委託を依頼している業者に余裕があるとす

れば、そこを補ってもらうことが考えられる。また、余裕がない場合は新規業者を探すことになると思う。税金を滞納しているケースでは、業者指名する際に税金の納付書類などをつけるのを義務付けており、厳格に調査している。また、委託期間中に税の滞納が発覚した場合は、見過ごすこともないように今後検討したい。」との答弁でした。

ほかに質疑・討論もなく、採決の結果、出席委員の一致をもって、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

報告を終わります。

- 議長（児玉裕一君） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

- 議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより議案第171号を採決いたします。本件に対する各委員長報告は原案可決であります。本件は各委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- 議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決されました。

（1番 大野忠夫君 10時33分入場）

-
- 議長（児玉裕一君） 次に、日程第11、議案第202号を議題といたします。

本件に関し、各委員長の報告を求めます。はじめに、総務民生常任委員長14番武田隆君。はい、14番。

- 総務民生常任委員長（武田 隆君） 【登壇】 ご報告いたします。

議案第202号「平成23年度大仙市一般会計補正予算（第8号）」のうち、当委員会に付託となりました所管する予算につきましては、当局からの補正内容の説明に対し、質疑において「可搬式排水ポンプについて、有事に備えた保管・管理体制は十分か。」との質問があり、当局からは「平時は本庁と各支所で保管しているが、有事に備え、保管管理体制の規則を作り万全を期したい。」との答弁がありました。

また、「今回の豪雨で甚大な被害を受けた地域もあるが、危機的な状況の場合など、今後どのように対処するのか。」との質問に対しては「今回の補正は全域の被害状況や

建設業協会とのバランスを考慮した配置であり、有事には各地域に保管してあるポンプ及び発電機を機動的に危険箇所へ運ぶなど弾力的に運用したい。」との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（児玉裕一君） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

次に、建設水道常任委員長 18 番佐藤芳雄君。はい、18 番。

○建設水道常任委員長（佐藤芳雄君）【登壇】 ご報告いたします。

同じく議案第 202 号のうち、当委員会に審査付託となりました所管する予算につきましては、当局からの補正予算の内容説明に対し、質疑において「河川災害における認定について、河川の上流部は農業施設もあり、土地改良区で整備されたが、下流部の山林原野が崩れた場合などは、どこが復旧工事を担当することになるのか。」との質問には「農業施設もなく、所管する部門がはっきりしない場合は、普通河川として道路河川課が担当することになる。」との答弁でありました。

ほかに質疑・討論もなく、採決の結果、出席委員の一致をもって、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

報告を終わります。

○議長（児玉裕一君） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより議案第 202 号を採決いたします。本件に対する各委員長報告は原案可決であります。本件は各委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決されま

した。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第12、議案第172号を議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。総務民生常任委員長14番武田隆君。はい、14番。

○総務民生常任委員長（武田 隆君）【登壇】 ご報告いたします。

議案第172号「平成23年度大仙市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）」は、当局からの補正内容の説明に対し、質疑において「太田国民健康保険診療所において、経営面で大きな収入源になっている胃カメラの検査件数はどれだけ増えているのか。」との質問があり、当局からは「20年度が331件、21年度が465件、22年度は476件となっており、土曜日には秋田大学から派遣された医師も加わり、集中的に行っている。」との答弁がありました。

討論はなく、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（児玉裕一君） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより議案第172号を採決いたします。本件に対する委員長報告は原案可決であります。本件は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決されました。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第13、議案第175号を議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。教育福祉常任委員長13番金谷道男君。はい、13番。

○教育福祉常任委員長（金谷道男君）【登壇】 ご報告いたします。

議案第175号「平成23年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算（第3号）」につきましては、当局からの補正内容の説明を了とし、採決の結果、出席委員の一致をもって、本件は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で報告を終わります。

○議長（児玉裕一君） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより議案第175号を採決いたします。本件に対する委員長報告は原案可決であります。本件は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決されました。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第14、議案第173号及び日程第15、議案第174号の2件を一括して議題といたします。

本2件に関し、委員長の報告を求めます。建設水道常任委員長18番佐藤芳雄君。はい、18番。

○建設水道常任委員長（佐藤芳雄君） 【登壇】 ご報告いたします。

議案第173号「平成23年度大仙市土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）」及び議案第174号「平成23年度大仙市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）」の2件は、関連があることから一括議題として審査いたしました。

当局からの補正予算の内容説明に対し、質疑において「区画整理事業に対する国庫支出金の内示額が要求額の約5割という配分のようなのだが、その理由は何か。また、補助分について追加要望も行っているとしているが、どのような要望活動をしているのか。」との質問には「社会資本整備総合交付金が約5割という配分額は、国から秋田県内の区画整理事業に対する交付金が一律に約5割しか配分されていないことである。このことから、計画どおりの施行が困難な状況にあり、約5割の配分額が決定してから、すぐに市長と秋田県に出向き、国に追加要望をお願いしている。」との答弁でした。

また、「委員会協議会で説明された中通線新設工事現場から大量のごみが出てきた問題で、ごみの処理費用は補助事業の対象となるのか。」との質問には「ごみの処理に関しては県を通じて国に確認しており、補助事業の対象になるとのことで確認いただいている。」との答弁でした。

そのほかに質疑・討論もなく、採決の結果、出席委員の一致をもって、本2件は原案のとおり可決すべきものと決した次第であります。

報告を終わります。

- 議長（児玉裕一君） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

- 議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより議案第173号及び議案第174号の2件を一括して採決いたします。本2件に対する委員長報告は原案可決であります。本2件は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

- 議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本2件は、原案のとおり可決されました。

-
- 議長（児玉裕一君） 次に、日程第16、議案第200号を議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。教育福祉常任委員長13番金谷道男君。はい、13番。

- 教育福祉常任委員長（金谷道男君） 【登壇】 ご報告いたします。

議案第200号「平成22年度市立大曲病院事業会計決算の承認について」につきましては、予算が適正かつ効率的に執行されているか、また、事務事業の執行が法令及び条例等に基づき適正に処理されているかなどにつき、担当職員に説明を求め、審査いたしました。

委員からは「年間取扱延べ患者数を見ると、前年度比較で、入院・外来とも増となっており、精神医療の提供に努力していることがわかる。今後も精神科病院の運営は厳しくなると思われるが、地域や時代のニーズに合った良質な精神医療の提供に力を注いで

ほしい。」、また、「経営面では病院事業収支差し引き800万円の純利益の計上であり、一般会計からの繰入金も予算に比較し約541万円少なくなっており、経営の努力は認める。一般会計からの繰り入れが少ない状態で経営できるよう、さらなる収益の確保や経費削減に努め、良好な病院経営となるよう、なお一層の努力をお願いしたい。」、さらに「市立病院としては大変頑張っていることが認められる。当委員会としても大変感謝している。これからますます増えていく患者に対し、どう対応していくかが市立病院としての最大の目標と思われるので、これからも頑張りたい。」との要望がありました。

討論はなく、採決の結果、本決算は出席委員の一致をもって、認定すべきものと決定した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（児玉裕一君） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより議案第200号を採決いたします。本件に対する委員長報告は認定であります。本件は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本件は、認定することに決しました。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第17、議案第201号を議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。建設水道常任委員長18番佐藤芳雄君。はい、18番。

○建設水道常任委員長（佐藤芳雄君） 【登壇】 ご報告いたします。

議案第201号「平成22年度大仙市上水道事業会計決算の認定について」につきましては、予算が適正かつ効率的に執行されているかどうか、事務事業の執行が法令及び条例等に基づき適正に処理されているかどうか、監査委員の審査意見書等を参考に審査を行いました。

当局からの決算の内容説明に対し、質疑において「未収金における不納欠損額の内訳はどうなっているのか。」との質問では「22年度に不納欠損処理したのは35件であり、その内訳では行方不明者が26件、死亡者1件、企業の倒産などが8件で、その合計が62万3,550円になっている。」との答弁でした。

また、「上水道事業収益、雑収益の古メーター売却とは、どういう意味なのか。」との質問では、「上水道のメーター器は耐用年数があり、その時期がくる前に市で交換作業を行っている。その使用済みのメーターを廃品とし、納入業者に回収してもらっており、その売却代金である。」との答弁でした。

ほかに質疑・討論もなく、採決の結果、出席委員の一致をもって、本件は認定すべきものと決した次第であります。

報告を終わります。

○議長（児玉裕一君） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論の通告がありませんので、討論なしと認めます。

これより議案第201号を採決いたします。本件に対する委員長報告は認定であります。本件は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本件は、認定することに決しました。

○議長（児玉裕一君） 申し上げます。この際、暫時休憩いたします。本会議は午前11時5分に再開いたします。

午前10時52分 休 憩

.....

午前11時04分 再 開

○議長（児玉裕一君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第18、陳情第29号及び日程第19、陳情第33号

の2件を一括して議題といたします。

本2件に関し、委員長の報告を求めます。総務民生常任委員長14番武田隆君。はい、14番。

○総務民生常任委員長（武田 隆君）【登壇】 ご報告いたします。

はじめに、陳情第29号「後期高齢者医療制度の廃止に関する意見書の採択を求めることについて」であります。本陳情は平成22年第4回定例会、平成23年第1回及び第2回定例会において「調査検討を要する」として閉会中の継続審査と決した陳情であります。

委員からは「廃止に向けた動きが現実的にあることから採択すべき。」との意見と「国の方針がはっきり定まっていない状況では、今のまま続けるべき。」との意見が出され、採決の結果、出席委員の多数をもって、採択すべきものと決した次第であります。

次に、陳情第33号「地方消費者行政充実のための国による支援に関する意見書の採択等を求めることについて」は、「願意が妥当であり、採択すべき。」との意見が出され、採決の結果、出席委員の一致をもって、採択すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（児玉裕一君） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 討論なしと認めます。

これより陳情第29号及び陳情第33号の2件を一括して採決いたします。本2件に対する委員長報告は採択であります。本2件は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本2件は、採択することに決しました。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第20、請願第12号を議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。企画産業常任委員長 25 番橋村誠君。はい、25 番。

○企画産業常任委員長（橋村 誠君）【登壇】 ご報告いたします。

請願第 12 号「米の先物取引試験上場の中止を求めることについて」につきましては、当局から参考意見を求めて審査いたしました。

その願意を妥当と認め、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は採択すべきものと決した次第であります。

以上、終わります。

○議長（児玉裕一君） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 討論なしと認めます。

これより請願第 12 号を採決いたします。本件に対する委員長報告は採択であります。本件は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本件は、採択することに決しました。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第 21、請願第 10 号及び日程第 22、請願第 11 号の 2 件を一括して議題といたします。

本 2 件に関し、委員長の報告を求めます。教育福祉常任委員長 13 番金谷道男君。はい、13 番。

○教育福祉常任委員長（金谷道男君）【登壇】 ご報告いたします。

請願第 10 号「30 人以下学級実現を求める意見書の採択について」につきましては、当局からの参考意見も求めながら慎重審査いたしました。

その願意を妥当と認め、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は採択すべきものと決した次第であります。

次に、請願第11号「義務教育費国庫負担堅持及び国庫負担2分の1復元を求める意見書採択について」につきましては、当局からの参考意見も求めながら慎重審査いたしました。

その願意を妥当と認め、採決の結果、出席委員の一致をもちまして、本件は採択すべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長（児玉裕一君） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 討論なしと認めます。

これより請願第10号及び請願第11号の2件を一括して採決いたします。本2件に対する委員長報告は採択であります。本2件は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本2件は、採択することに決しました。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第23、請願第13号を議題といたします。

本件に関し、委員長の報告を求めます。建設水道常任委員長18番佐藤芳雄君。はい、18番。

○建設水道常任委員長（佐藤芳雄君） 【登壇】 ご報告いたします。

請願第13号「小平、岩瀬、湯野沢地域の早期堤防構築に関することについて」につきましては、本請願は地域住民の切実なる要望と考えられ、願意妥当との意見が出され、そのほかに意見はありませんでした。

採決の結果、出席委員の一致をもって、採択すべきものと決した次第であります。

なお、委員からは「国や県への陳情や要望活動は、合併前において首長とともに議会も一緒になって活動してきた経緯があるが、今後は担当の常任委員会等も一緒になって

活動すべきと考えるが、当局としての考えはどうか。」との質問に「今後の陳情活動においては、その都度相談しながら対応してまいりたい。」との答弁がありました。

報告を終わります。

○議長（児玉裕一君） ただいまの委員長報告に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 討論なしと認めます。

これより請願第13号を採決いたします。本件に対する委員長報告は採択であります。本件は委員長報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本件は、採択することに決しました。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第24、議案第203号を議題といたします。

本件は、議会基本条例特別委員長藤井春雄君から提出されております。

提案理由の説明を求めます。議会基本条例特別委員長5番藤井春雄君。はい、5番。

○議会基本条例特別委員長（藤井春雄君）【登壇】 議案第203号、大仙市議会基本条例の制定についての提案理由を申し上げます。

なお、大仙市議会基本条例の前文の要点を申し上げまして、提案理由といたします。

日本国憲法において、市長と議会は市民の直接選挙により選ばれ、ともに市民を代表する二元代表制となっている。これに基づき、市長を執行機関、議会を議決機関として独立対等の機関とし、また、議会には政策決定と執行機関に対する監視・評価の機能を果たす使命が課せられている。

また、地方公共団体は、自らの判断と責任において行政を運営し、議会には市民を代表しての自己決定と、それによる自己責任が求められ、議決機関として将来にわたる責務を果たさなければならない。

大仙市議会は、このような使命と責務を重く受け止め、議会は主権者である市民の代

表機関であることを常に自覚し、市民との協調と協働のもと、自立する地方公共団体の確立に向け、議員間の自由闊達な討議を重んじ、不断の議会改革に努めることを決意し、議会の最高規範として議会基本条例をここに制定するものであります。

以上で終わります。

○議長（児玉裕一君） これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

本件については、会議規則第37条第2項の規定により委員会には付託いたしません。

これより討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 討論なしと認めます。

これより議案第203号を採決いたします。本件は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本件は、原案のとおり可決されました。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第25、意見書案第19号から日程第29、意見書案第23号までの5件を一括して議題といたします。

意見書案第19号及び意見書案第20号の2件は総務民生常任委員長から、意見書案第21号は企画産業常任委員長から、意見書案第22号及び意見書案第23号の2件は教育福祉常任委員長から、それぞれ提出されております。

お諮りいたします。意見書案第19号から意見書案第23号までの5件については、会議規則第37条第3項の規定により、提案理由の説明を省略いたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本5件については、提案理由の説明は省略することに決しました。

これより質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 質疑なしと認めます。

ただいま議題となっております5件については、会議規則第37条第2項の規定により委員会には付託いたしません。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） 討論なしと認めます。

これより意見書案第19号から意見書案第23号までの5件を一括して採決いたします。本5件は原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本5件は、原案のとおり可決されました。

お諮りいたします。ただいま議決されました意見書案第19号から意見書案第23号までの5件については、その条項、字句、数字、その他の整理を要するものにつきましては、その整理を議長に委任されたいと思います。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって、条項、字句、数字、その他の整理は議長に委任することに決しました。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第30、各委員会からの閉会中の継続審査及び所管事務調査の申し出についてを議題といたします。

各委員長から、お手元に配付のとおり、会議規則第97条第1項及び第103条の規定により、継続審査及び所管事務調査について、審査及び調査が終了するまで継続して審査及び調査をいたしたいとの申し出があります。各委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続審査及び所管事務調査とすることにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって、各委員長からの申し出のとおり決しました。

○議長（児玉裕一君） 次に、日程第31、議員の派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。地方自治法第100条第13項及び会議規則第158条の規定に

より、お手元に配付のとおり、平成23年度秋田県市議会議長会「議員研修会」へ議員派遣することにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(児玉裕一君) ご異議なしと認めます。よって、平成23年度秋田県市議会議長会「議員研修会」へ議員派遣することに決しました。

○議長(児玉裕一君) この際、決算特別委員会審査のため、暫時休憩いたします。

午前11時20分 休 憩

.....

午前11時39分 再 開

○議長(児玉裕一君) 休憩前に引き続き会議を開きます。

○議長(児玉裕一君) 日程第32、議案第176号から日程第55、議案第199号までの24件を一括して議題といたします。

本24件に関し、委員長の報告を求めます。決算特別委員長21番高橋幸晴君。はい、21番。

○決算特別委員長(高橋幸晴君) 【登壇】 ご報告いたします。

平成23年第3回大仙市議会定例会第3日目の本会議におきまして、当決算特別委員会に審査付託になりました議案第176号「平成22年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定について」から議案第199号「平成22年度大仙市淀川財産区特別会計歳入歳出決算の認定について」の24件につきましては、先刻、当決算特別委員会を開催し、分科会の設置と委員の選任、各分科会の正副会長の選任についてお諮りし、出席委員の一致をもって了承されました。

続いて、継続審査についてお諮りした結果、出席委員の一致をもって、閉会中の継続審査とすべきものと決した次第であります。

以上で報告を終わります。

○議長(児玉裕一君) 以上で、決算特別委員会の中間報告を終了いたしました。

○議長(児玉裕一君) 次に、日程第56、決算特別委員会からの閉会中の継続審査の申し出についてを議題といたします。

決算特別委員長から、お手元に配付のとおり、会議規則第103条の規定により、閉会中の継続審査申出書が提出されております。

お諮りいたします。本件については、委員長から申し出のとおり、閉会中の継続審査とすることにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長（児玉裕一君） ご異議なしと認めます。よって本件は、委員長からの申し出のとおり、閉会中の継続審査とすることに決しました。

○議長（児玉裕一君） 以上で本定例会の日程は全部終了いたしました。

これにて平成23年第3回大仙市議会定例会を閉会いたします。

長期間にわたって大変ご苦勞様でした。

午前11時42分 閉 会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成 年 月 日

大仙市議会議長

議 員

議 員

議 員